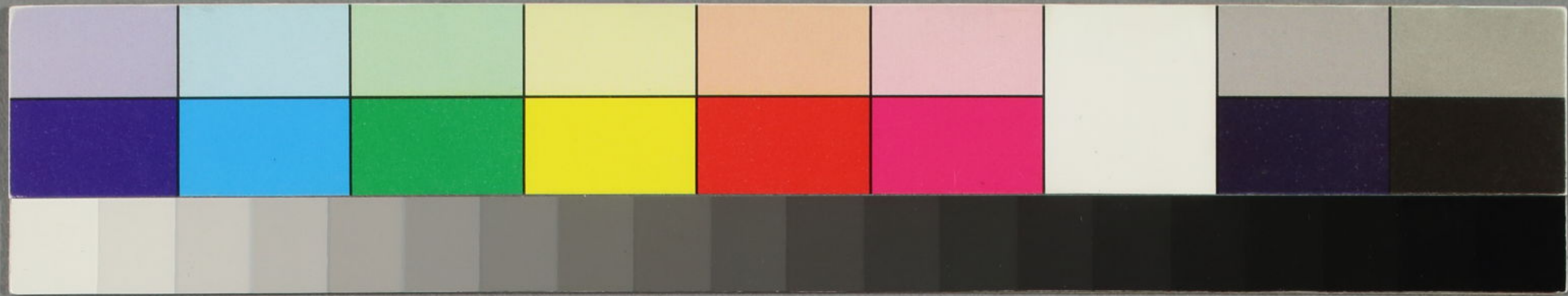


後若久意物
江戸

特別
千 13
3849
33 (3)





手 18
3849
巻 33-3

役者久々相 藝事室

江戸巻目録

新見世に育け

日本一は所江戸

家く乃軒 所

かひくの後お

門はと遠入と

ちまんとお

うても
よこびた所



三番叟の
延養也

徳人小
法樂也

ろのりより

勢のりり
波者

物之
波者

丸かじり

まのりより

波者

わのりより

市川流の
波者

わのりより

江戸三番居波者同流

江戸所 中村勘三郎

江戸所 市村龍太郎

江戸所 市村龍太郎

▲立波之部

○立波之部の様子を記す

極上吉 市川團十郎

お門の中流のりり

上上吉 尾上菊次郎

わのりより

上上吉 市川團十郎

実小次郎

本上吉 中村七三郎

今小次郎

上上吉 市川團十郎

多脚流

上上吉 市川團十郎

接発

上上音 富沢辰十郎 辰十郎

上上音 坂東彦三郎 辰十郎

上上音 大谷廣作 辰十郎

上上音 中村伴直 辰十郎

上上音 市川右太衛門 辰十郎

上上音 沢村森十郎 辰十郎

上上音 市川八百屋 辰十郎

上上音 市川伴直 辰十郎

上上音 坂田守八郎 辰十郎

上上音 沢村音左衛門 辰十郎

上上音 大谷彦次 辰十郎

上上音 松平幸四郎 辰十郎

上上音 中村右衛門 辰十郎

上上音 桐山紋次 辰十郎

上上音 中村助八郎 辰十郎

上上音 坂東又右衛門 辰十郎

上上音 坂田辰十郎 辰十郎

上上音 中村内藏 辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

辰十郎

上上十 中村徳八郎 中村

上上十 徳余半九郎 徳余

上上十 中島三南 中島

上上十 沢村大治 沢村

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

上上十 松中又八 松中

大つとるをよとすてむをのり

尾がまはるゑんくこのこと

名をうててもいど魚人衆

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

▲道外形之部

上上吉 嵐音八 多村

上上吉 市川久 中村

上上吉 市川久 中村

上上吉 市川久 中村

上上吉 市川久 中村

上上吉 市川久 中村

おらうそくもかりけり

ゆやうくね異下のり

市川久

市川久

市川久

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上十 松中又八

上上音 井毒有茂近中村

上上音 小佐川常一查茂

上上音 中村中一江中

上上音 尾上中一助

上上音 嵐中一治

上上音 坂東中一茂

上上音 三條中一飛

上上音 松本中一七

上上音 文橋中一菊

上上音 飛近十次

上上音 中村富次

上上音 沢村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

上上音 中村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

上上音 中村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

上上音 井毒有茂近中村

上上音 小佐川常一查茂

上上音 中村中一江中

上上音 尾上中一助

上上音 嵐中一治

上上音 坂東中一茂

上上音 三條中一飛

上上音 松本中一七

上上音 文橋中一菊

上上音 飛近十次

上上音 中村富次

上上音 沢村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

上上音 中村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

上上音 中村中一

上上音 市川中一

上上音 坂東中一

上上音 沢村中一

一 瀬川橋次良 一 小坂川林蔵
 一 一川村高徳 一 一川辰之助
 一 中村乙彦 一 中村逸松
 一 一川元吉 一 中村政之助
 一 中村政之助
 一 中村松次郎

▲市村姓色子之分

一 鼠約市 一 芳沢三八
 一 鼠とのり 一 龜谷保太郎
 一 瀬川泰八 一 龜谷徳太郎
 一 小坂川七彦 一 鼠丸長吉
 一 鼠丸のり 一 小坂川為八

▲表回姓及中分

一 芳沢厚徳 一 中村徳太郎
 一 表回三三 一 鼠丸之助
 一 中村徳太郎 一 小坂川五郎
 一 芳沢のり 一 鼠丸代徳
 一 坂東のり 一 坂東徳太郎

▲子後之部

一 市村高徳 一 市村長太郎
 一 一川村金平 一 一川村田之助
 一 市川高徳 一 市川三三
 一 表回勤次郎 一 表回又次郎
 一 一の重又良 一 坂東のり
 一 表回元良 一 坂東又良
 一 市川高徳 一 中村高徳
 一 東又良 一 東仙之助
 一 尾上高徳

▲市村姓元之部

一 上上吉 一 中村徳九郎
 一 市村高徳 一 市村高徳
 一 市村高徳

上上吉

一 表回勤次郎
 一 表回又良
 一 表回元良
 一 市川高徳
 一 東又良
 一 東仙之助
 一 尾上高徳

○いふ事なき事いふ事せやとい

三々津菟野不空三の終大伴判

後者副雜寫全部三卷

附 作新法抄のりつ後巻もた方方方

伴判而るる國能之撰弘明

の夏回ぬ方々も油紙被るる

假名ひのりはるる國と撰まらる

粗言はりの後員てござりませ

一番 立波 及び方は字解傳集

二番 實錄 東の抄の巻記

三番 廿形 たるは又執向の立

右の中と本因三月二日山中の

内衆以後てらりし以上作者 白雲

○括方本はも終りし巻の序

國書抄の巻の括方本はも終り

國子司本の巻の括方本はも終り

此の巻は又系傳抄の巻の括方本

秋の巻と不空抄の巻の括方本は

も終りし三巻の巻の括方本は

必るる巻の巻の括方本は九下所

子空の巻の巻の括方本はも終り

かまひのじりも巻の巻の括方本

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

わびの巻の巻の括方本はも終り

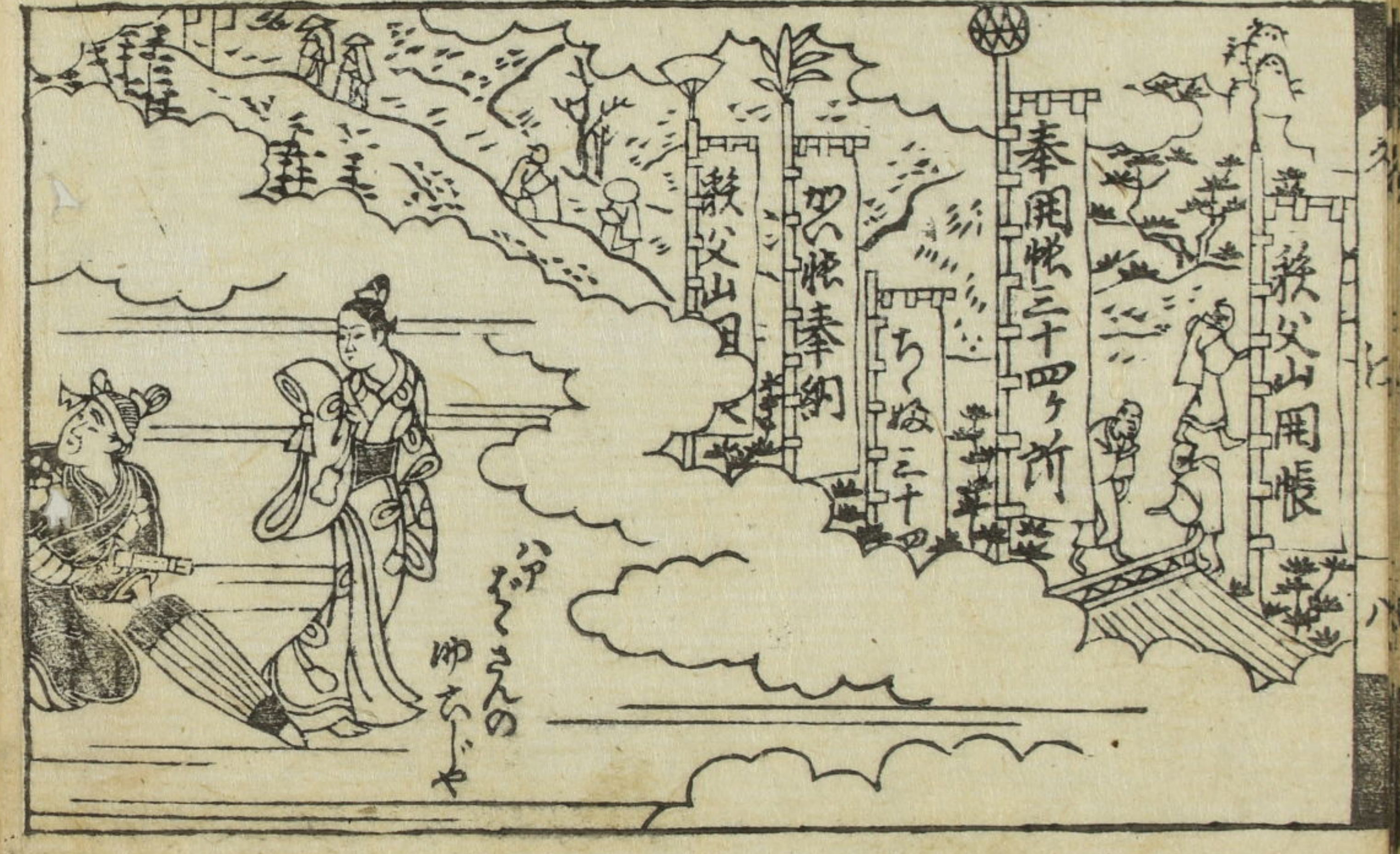
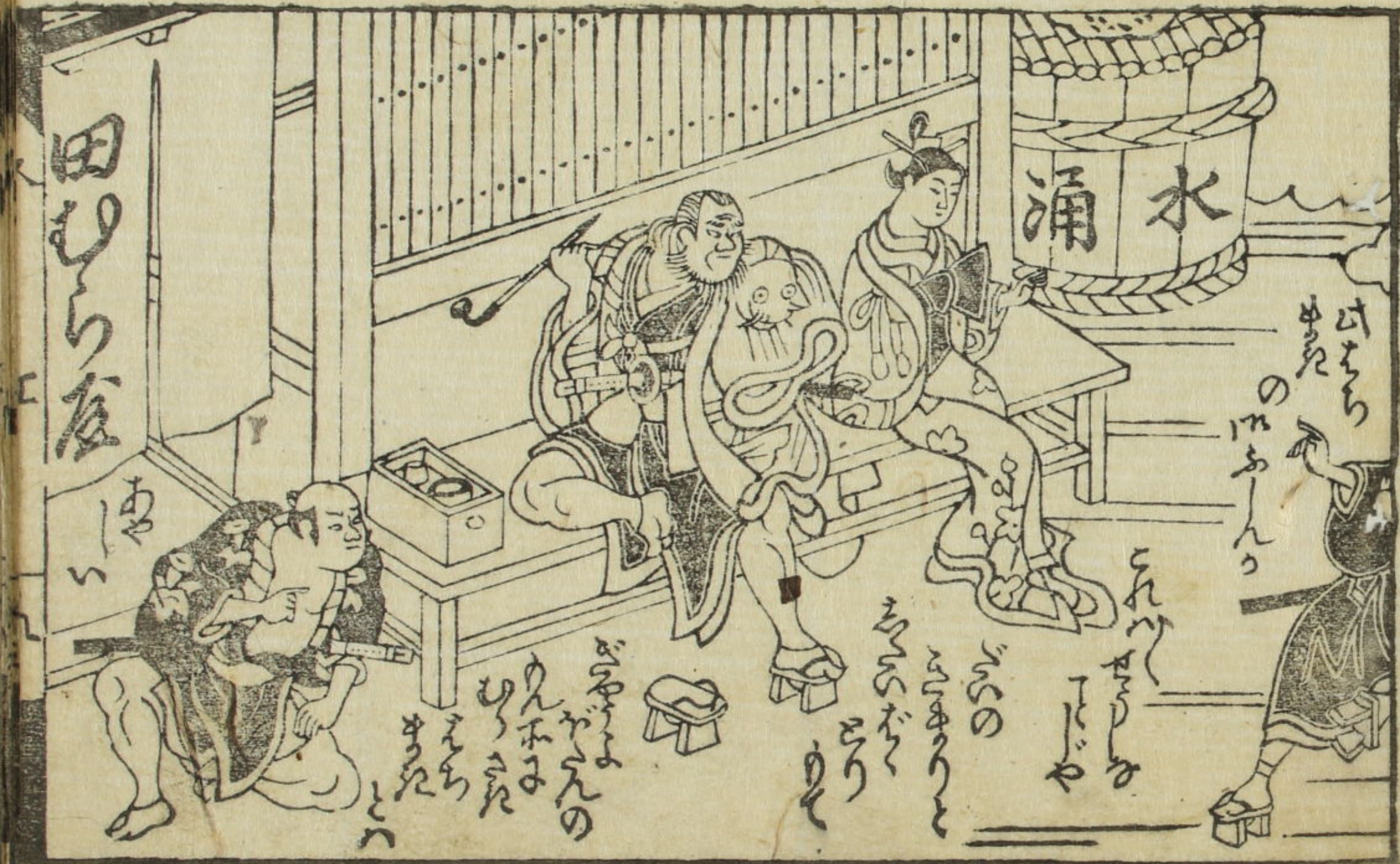
只の巻の巻の括方本はも終り

は七巻の巻の巻の括方本はも終

居しはのじりも巻の巻の括方本

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a large initial letter. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.



和歌の巻物...
あめくさのしるしに
よびをよそとてまふさ
るべしとてさきとて
かきつたてのうら
むねのこころを
おのれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして

和歌の巻物...
あめくさのしるしに
よびをよそとてまふさ
るべしとてさきとて
かきつたてのうら
むねのこころを
おのれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして
あはれにまかして

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'D' or 'D'. The script is dense and fills most of the page. There are several small, rectangular boxes or markers interspersed within the text, which may indicate specific sections or words of interest. The overall appearance is that of a well-preserved historical record.

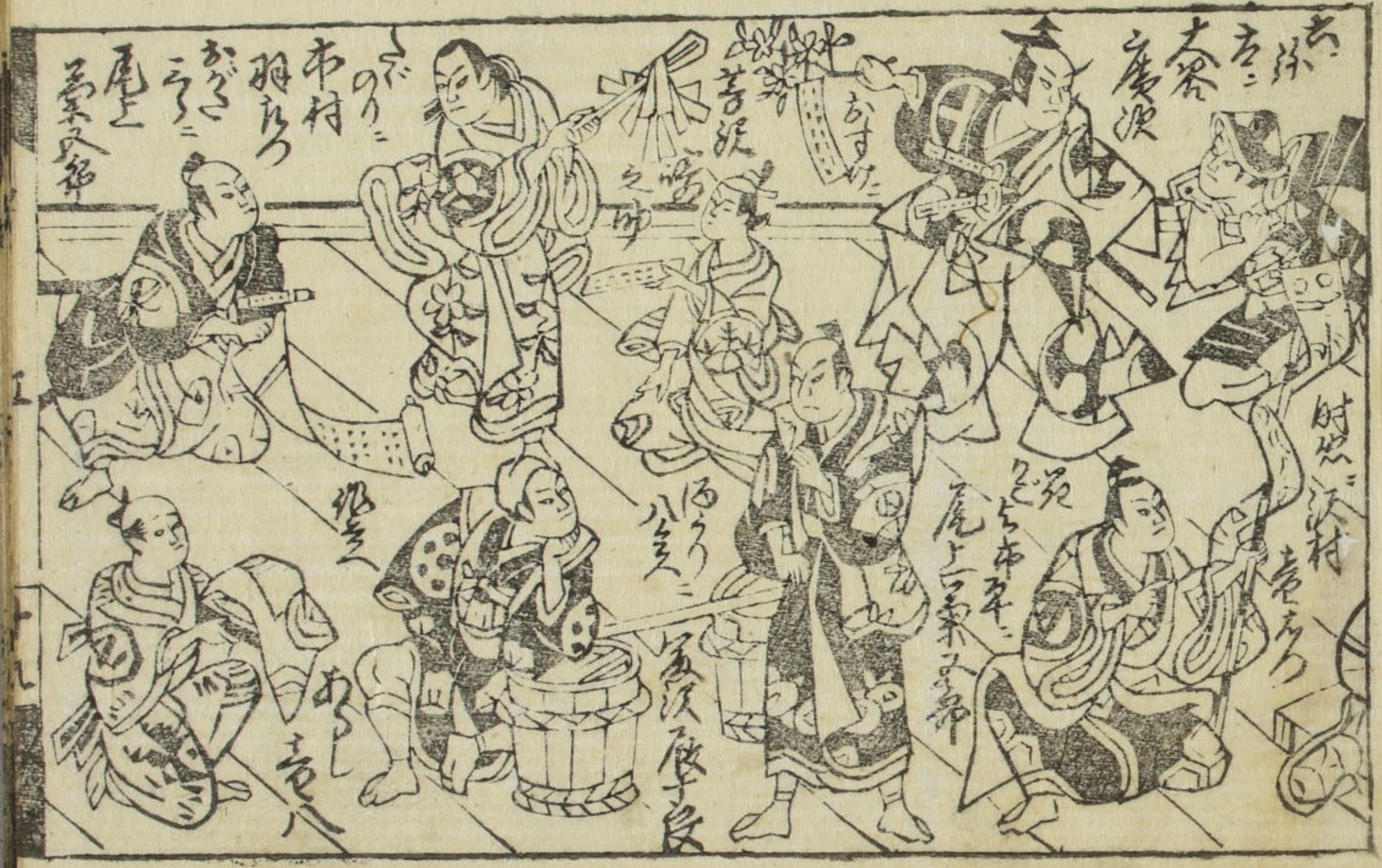
Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large initial letter, possibly 'D' or 'D'. The script is dense and fills most of the page. There are several small, rectangular boxes or markers interspersed within the text, which may indicate specific sections or words of interest. The overall appearance is that of a well-preserved historical record.

其時より先づいふに、
左下にて挿入するものあり
その後、
の挿入するものあり
後、
の挿入するものあり
其時より先づいふに、
左下にて挿入するものあり
その後、
の挿入するものあり
後、
の挿入するものあり

その時より先づいふに、
左下にて挿入するものあり
その後、
の挿入するものあり
後、
の挿入するものあり

上吉回 市川雷后

その時より先づいふに、
左下にて挿入するものあり
その後、
の挿入するものあり
後、
の挿入するものあり



江戸
 申十一月廿一日
若本元復廣知雪
 市村
 寛政後

何れか多し其意未詳し後有る者
亦其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 東坂東又之節 其意未詳し

其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 坂回伏十節 其意未詳し

其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

尾形 其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 中村 其意未詳し其意未詳し

其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 仙 中村 其意未詳し其意未詳し

其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 其意未詳し其意未詳し其意未詳し

其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し
其意未詳し其意未詳し其意未詳し

上上十 中村 其意未詳し其意未詳し其意未詳し

此の山を越えて南に下りて
 秋のころに老いをはたし
 少味云々の山にありて
 上上中 **⑤** 沢村大次 齋
 登りて山を越えて南に下りて
 秋のころに老いをはたし
 少味云々の山にありて
 上上中 **⑤** 沢村大次 齋

上上言 **④** 文海十四年 青

此の山を越えて南に下りて
 秋のころに老いをはたし
 少味云々の山にありて
 上上中 **⑤** 沢村大次 齋

▲道形之部

本上言 **④** 嵐 音 八 多村

此の山を越えて南に下りて
 秋のころに老いをはたし
 少味云々の山にありて
 上上中 **⑤** 沢村大次 齋

上上中 **⑤** 沢村大次 齋

此の山を越えて南に下りて
 秋のころに老いをはたし
 少味云々の山にありて
 上上中 **⑤** 沢村大次 齋



かゝる所の故を述べしむるは
上上回 市川久慈貫

既良の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり

▲若母形之部

上上吉 (神) 津川 菊三由兼

既良の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり

既良の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり

上上吉 (神) 芳江勝之由兼

既良の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり
又津川 菊三由兼
此の故をいふ事早御代中の事なり
森の地味所のこゝにさういふ所あり

上上言 **○** 小佐川中布衣

○ 長谷川右衛門尉

巨捷之疾 **○** 長谷川右衛門尉

多事之憂 **○** 長谷川右衛門尉

計之出 **○** 長谷川右衛門尉

分の事 **○** 長谷川右衛門尉

平定 **○** 長谷川右衛門尉

と云 **○** 長谷川右衛門尉

因方 **○** 長谷川右衛門尉

上上 **○** 中村中

○ 長谷川右衛門尉

深 **○** 長谷川右衛門尉

深 **○** 長谷川右衛門尉

の事 **○** 長谷川右衛門尉

の事 **○** 長谷川右衛門尉

竹 **○** 長谷川右衛門尉

上上 **○** 長谷川右衛門尉

○ 長谷川右衛門尉

不 **○** 長谷川右衛門尉

と **○** 長谷川右衛門尉

と **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

の **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

事 **○** 長谷川右衛門尉

▲
▲

上上



中村高次

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

▲
▲

三ノ若以彼等ノ事ヲ推察スルニ其ノ意ハ
必ス其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ

上上吉 ㊦ 本ノ回劫孫

既ヨリ其ノ事ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ
其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ其ノ内ニ有テ其ノ意ハ

明治二年酉正月吉日

大空道公堂門板

